和歌山県立
日高高等学校
SGH通信
第１５号
２０１８年１１月26日

インドネシア研修 その２

SGH 海外研修　防災

2018 年 10 月 14 日 ～ 20 日

主な研修内容

10/14　出国
10/15　JICA 研修（日本の支援）
　　ERIA 研修（ｱｼﾞｱ経済・英語講義）
10/16　マダニア高校との協働学修
10/17　市内研修（宗教の多様性）
10/18　世界遺産の被災と復興研修
10/19　市内研修（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱの歴史）
10/20　帰国

報告③ 市内研修（宗教の多様性）

日本ではなじみのないモスクや大聖堂を間近で見ることができ、宗教の大きな力を肌で感じることができた。一つの宗教だけではなく、様々な宗教の建物が混在しているところがとても印象的だった。宗教同士でいがみ合うという印象があったが、マダニア高校の教育からも、モスクから大聖堂が見えるという都市構造からも、人々の寛容な精神を感じとることができた。

１年６組　阪本淑恵

報告② マダニア高校との協働学修

マダニア高校の発表からは、インドネシアでの地震による死亡原因の第一は津波によるもので、二番目に多いのが建築物による圧死だということがわかった。日本のように耐震工事をしてもっと強化すべきだと思ったが、ＪＩＣＡ研修でインドネシアでは今日の夕飯の心配をするくらい毎日毎日暮らしていくことが精一杯で一生懸命だということを学んだばかりだった。そんな彼らが未来のためにお金を費やすことはまだまだ難しいことなのだと理解はしたが、一人でも多くの命を救うためにも、一人でも多くの人に防災知識を理解してもらうことが必要になってくると感じた。

協働学修は、自分たちや日本の取組を改めて振り返る良い機会になった。また、アルファ米のように現地には無い日本の非常食を伝えることもできた。マダニア高校での滞在は一日だけだったが、とても有意義な時間になった。

２年５組　今枝萌

報告④ 研修を振り返って（英語力）

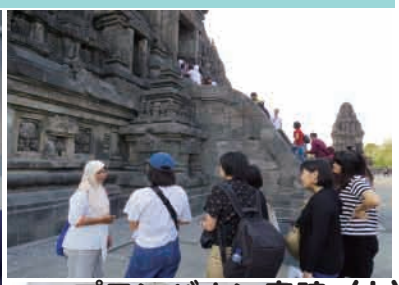
初めての海外で不安だらけでしたが、実際に自分の目で確かめて、自分の肌で感じてみて、この研修に、このメンバーで行くことができてとても良かったと感じています。

渡航する前から、自分に英語を聞く力・話す力がないことは分かっていましたが、実際にインドネシアの方々と英語で話そうとしたとき、うまく言いたいことが言えず、困ってしまいました。グローバル社会が加速する中で、このままではいけないと痛感しました。帰国した今、普段の英語の授業からしっかり受けることを心がけて、今まで以上に英語に興味を持って勉強したいと思います。

海外研修でたくさんのことを学べました。本当に参加できてよかったです。少しでも興味を持っている人は、ぜひ参加してほしいと思います。

１年５組　小松智加子

マダニア高校での協働学修



プランバナン寺院（上）
国立博物館（下）